



さんびょう
三錨

よっかいちしりつとみすはらしょうがっこう
四日市市立富洲原小学校

がっこう
学校だより NO. 22

れいわ
令和4年 9月 27日

がつ のこ すく あきゆう すず こうてい き あき よそお へんしん
9月も残り少なくなってきました。朝夕も涼しくなり、校庭のすずかけの木も秋の装いへと変身しました。

あき うんどうかい ねんせい しぜんきょうしつ しゃかいけんがく ねんせい しゅうがくりょこう さんしりくじょうきろくかい さんしおんがくかい
秋には運動会をはじめ、5年生の自然教室や社会見学、6年生の修学旅行、三洲陸上記録会、三洲音楽会

ぎょうじ めじろお がくねん うんどうかい れんしゅう いっしょうけんめいと く すてき すがた
など、行事が目白押しです。どの学年も運動会の練習に一生懸命取り組んでいます。とても素敵な姿で

とうじつ たの ひ つづ こ たいちようかんり せわ ねが
す。当日がとても楽しみです。引き続き、子どもたちの体調管理お世話になります。よろしく願います。

さんびょう ねんかい かいさい ねんご さいかい
●三錨 61年会が開催されました。(37年後の再会でした。)

がつ にち ど しんがた かんせんかくだい えんき
9月17日(土)、新型コロナウイルスの感染拡大のために延期になっていた

おんし かわべせんせい あいさつ
恩師の川邊先生の挨拶です

さんびょう ねんかい ほんこうこうどう かいさい
「三錨61年会」が本校講堂にて開催されました。



さんびょうかい とみすはらしょうがっこう おこな だんとくぎょうじ しきてん
「三錨会」というのは、この富洲原小学校で行われている伝統行事です。この式典

しょうわ ねん ねん そつぎょう ねん つど もよお はじ いらい ねんちか
は、昭和26年(1951年)に「卒業35年の集い」という催しが始まって以来、70年近

つづ とみすはらしょうがっこう そつぎょう ねんご とみすはらしょうがっこう こうどう
く続いてきました。これは、「富洲原小学校を卒業したのち、35年後に、富洲原小学校の講堂にみんな

つど ぎょうじ ねん としつき ざんねん な どうきゅうせい おんし
集いましょう」という行事です。35年の年月のなかで、残念ながら亡くなられた同級生や恩師もみえました。

ねんご やくそく どうきゅうせい おんし ぜんこく あつ なつ
しかし、この「35年後…」という約束のもと、たくさんの同級生や恩師のみなさんが全国から集まれ、懐

はなし も あ ねんかい ねんまえ かいさいよてい ざんねん ちゅうし
かしい話に盛り上がっていました。61年会のみなさんは、2年前に開催予定でしたが、残念ながら中止さ

わたなべかいちよう ねんかい だんとく とだ がつ にち
れました。しかし、渡邊会長はじめ61年会のみなさんが「この伝統を途絶えさせてはいけない」と9月17日

さいかい さんしゅう こんねんど かいさいよてい ねんかい がつ さんびょう
に再開され、参集されました。今年度は、もともと開催予定であった63年会のみなさまも10月に「三錨63

ねんかい かいさい
年会」を開催されます。

とし さんびょうかい ほんこう こ きょういくかつどう こ
それぞれの年の「三錨会」のみなさま方から、本校の子どもたちの教育活動のために…と、子どもたちが

しょう ぶつびんどう
使用する物品等をいただきました。ありがとうございました。

ねんそうりつきねんしきてん かいさい
●146年創立記念式典が開催されます。

がつ にち きん とみすはらしょうがっこう そうりつ しゅうねん むか ほんらい ぜんこうじどう さんれつ らいひんとう き
9月30日(金)、富洲原小学校が創立146周年を迎えます。本来ならば、全校児童が参列し、来賓等も来

せいだい おこな しんがた かんせんしやう えいきやう ねんせい さんれつ
ていただき、盛大に行うところですが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、6年生のみ参列します。

らいひん れんごうじ ち かいちよう さかもと さんびょう ねんかい きたむらかいちよう りんせき かくがくねん こ
来賓として、連合自治会長の坂本さん、三錨63年会の北村会長に臨席いただきます。各学年の子ども

かくきやうしつ たんにん いっしょ しゅうねん いわ かんが
ちについては、各教室で担任と一緒に146周年を祝いたいと考えています。

●人権教育に関する研修会

本校では、令和3年度より、三重県教育委員会「人権教育研究指定校事業」の委託、四日市市より「人権教育推進校」の委託を受け、人権教育の実践的な研究を行っています。

人権とは、だれもが持っている、だれもが大切にされる権利です。わたしたちも含め、どの子にも「大切にされる」権利があります。しかし、さまざまな状況から、安心して過ごすことが脅かされることがあります。それは、まわりからの偏見であったり、誤った見方であったり、さらには、子どもたちを取り巻く環境からも影響があることがあります。さらに、日々の生活の中で自分本位な言動や、ほかの人の立場に立って物事を考えられなかったり、自分の悩みや困ったことなどを伝えられなかったりする子もいます。そこで、わたしたちは、子どもたち一人ひとりと深くかかわり、家庭とも連携し、すべての子どもたちがすべての面で安心して過ごせるように「人権感覚あふれる学校づくり」を今後も進めていきます。

本研究を進めるために、今年度の11月21日(月)に県内(市内中心)の教員や教育委員会指導主事等に子どもたちの様子や授業の様子を参観いただきます。その後、子どもたちの様子や本校の研修の内容について示唆していただきます。それを本校の今後の研修に生かし、子どもたちへと返していきたいと考えています。詳細は、後日、お知らせしますが、下校時刻等が変更になることがあります。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

●授業参観日の変更について

上記の件もあり、授業参観日を変更させていただきます。年間行事予定にてお知らせ済みでしたが、ご了承ください。なお、授業参観の詳細につきましては、後日、たよりにてお伝えします。

【変更前】11月14日(月) ⇒ 【変更後】11月30日(水)

●こんなところ、みつけたよ。「子どもたちの様子より」

本校ではいつも「子どもたちの様子」について全職員で共有しています。今回は給食調理員さんから「給食のワゴンを運んでいるとき、風が強くてワゴンが倒れそうになりました。そのときに、支えてくれた子がいました。」と聞きました。さらに「チャイムが鳴ったらすぐに席につき勉強しているクラスが増えてきましたよ。」「牛乳パックがうまく開けられない子のパックを開けていたよ。」という話も聞きました。いつも、子どもたちのたくさんの素敵な姿が集まってきます。うれしい限りです